



Vol.61 2026 July

明るい未来に向かい
自信と勇気を持って活動します!

広島市議会議員

ながた まさのり
永田雅紀

永田雅紀後援会

〒730-0822
広島市中区吉島東1-9-5-201
TEL/FAX(082)241-2381
e-mail:mn-net@triton.ocn.ne.jp
https://www.nagatamasanori.com/supporter/



INFORMATION PRESS

[CONTENTS] P 1…ごあいさつ P 2…高齢者いきいき活動ポイント事業・意識啓発等(障害者差別解消に向けた取組)・新交通西風新都線整備の推進
広島市水道事業について 西平和大橋歩道橋の整備・青少年の健全な心身の育成と社会性の涵養(ライフデザイン支援)・学校給食の提供

ごあいさつ

時下、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、いつも後援会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、2月定例会市議会並びに予算特別委員会が開催された際、『こども・若者と子育てに優しいまち“ひろしま”』の実現を目指し、全てのこども・若者が等しく健やかに成長することができ、保護者も子育てに伴う喜びを実感できるようにしたいと考えているとの松井市長の発言がありました。転出超過が顕著になり、出生率も低下する中、広島市の舵取りも厳しい状況が続いています。一朝一夕には進むことはありませんが施策の方向性を見極めて進んで行くように議会からも提案を続けさせていただきます。

本号は、本年度予算の一部を掲載させていただきました。ご覧下されば幸甚です。

季節の変わり目、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。



広島市議会議員 **永田雅紀**

広島市水道事業について

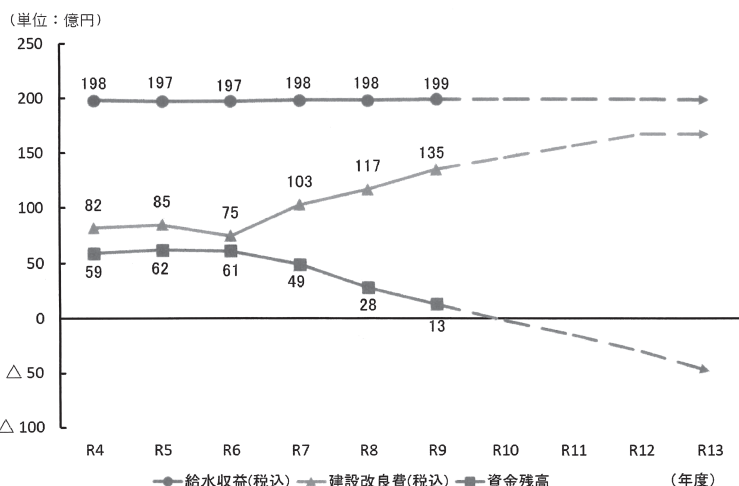
財政収支の見通しが現状のまま推移すると、給水収益については中長期的には減収に向かうことが予想される一方、老朽管更新や施設の耐震化等を計画的に推進していく必要があることや物価高騰などにより建設改良費が今後大きく増加していくことから、令和10年度(2028年度)には資金不足を生じる見込みであり大変厳しい状況にあります。

このため、今後の事業運営に当たっては、予算の執行管理を徹底す

るなど財務マネジメントの更なる強化や新たな収入の確保に取り組むとともに、現在改定作業を進めている新たな水道ビジョン(令和10年度(2028年度)～令和19年度(2037年度))に合わせて、予算や事務事業の執行体制を見直すなど本市水道事業の「持続」に向けた経営改革を推進していきます。

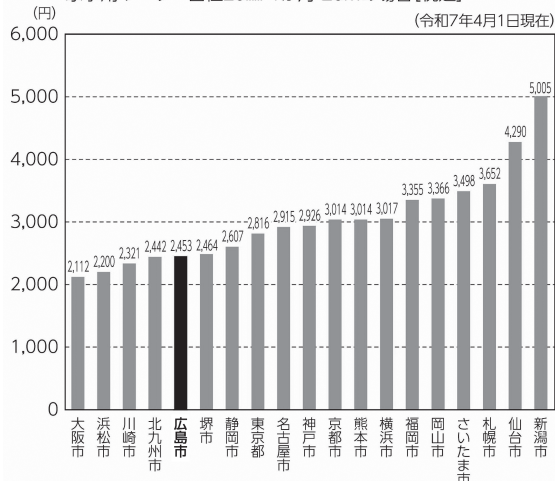
他の政令指定都市と比較しても安価ではありますが、経費削減等経営改革に取り組みながら、将来を見据えてあらゆる検討が必要です。

◆ 財政収支の見通し



◆ 東京都・政令指定都市との比較

家事用・メーター口径20mm・1か月・20mの場合[税込]



※令和4年度(2022年度)から令和6年度(2024年度)までは実績、令和7年度(2025年度)は見込み。

高齢者いきいき活動ポイント事業

10億709万4千円

高齢者の社会参加を促進するため、地域のボランティア活動や介護予防・健康増進に資する活動等への参加実績に基づきポイントを付与し、その獲得数に応じて奨励金を支給する。

対象者及び限度額

対象者		ポイント事業 限度額	交通費助成 限度額
65歳以上の高齢者 (所得制限なし)		10,000円 (100ポイント)	—
要支援・要介護 高齢者外出支援 交通費助成との 併用者	要支援者	7,500円 (75ポイント)	2,500円
	要介護者	5,000円 (50ポイント)	5,000円
障害者公共交通機関利用助 成との併用者		4,000円 (40ポイント)	6,000円 相当

考察



直近の実績では、本市よりポイント手帳送付した方は25万5,259人、その内、本市に手帳を提出した参加者が8万9,299人で、参加率は35.0%でした。令和8年度一般会計当初予算における本事業の事業費は10億709万4千円です。

意識啓発等(障害者差別解消に向けた取組)

634万円

■ 市民・事業者等への周知・啓発 244万5千円

【主な取組内容】

- ①障害当事者による講演会や事業者向けの広報を実施。
- ②障害者が安心してサービスを利用できる環境整備等に積極的に取組むことを宣言する事業者を募集し、その取組内容を公表。

■ 障害者差別解消支援地域協議会の運営 65万円

地域における障害者差別を解消するための提案について、協議・検討などを行うための協議会を運営する。

■ 相談窓口の運営 206万円

■ 障害者差別解消調整審議会の運営 118万5千円

相談窓口において解決しなかった案件について、市長の諮問を受け、紛争解決に向けた調整を行う審議会を運営する。

考察



「広島市障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」が制定され、本市、事業者及び市民が一体となって障害を理由とする差別の解消に取り組み、全ての市民が住み慣れた地域で支え合い、自立しながら、暮らしと生きがい、地域を共に創る「まち」広島の実現を目指しています。講演会や意識啓発やみんなのお店ひろしま宣言店を増やしています。

新交通西風新都線整備の推進

8,063万3千円

■ 整備効果の再算定業務 5,000万円

アストラムラインとJRとが一体となった基幹公共交通の環状型ネットワークを形成するため、広域公園前駅からJR西広島駅までの「新交通西風新都線」の整備を推進する。

考察



2024年に公表した事業費・効果等は整備による恩恵とコストを「丁寧に示す必要がある」と判断し、当初予算に5,000万円を盛り込みました。整備効果の再検証では悪い数字は出てこないと考えますが総合的にみて経済効果が上がる事が必要です。

西平和大橋歩道橋の整備

1,211万円

歩行者や自転車が安全かつ快適に通行できるよう、西平和大橋の上流側に歩道橋を新設する。

【スケジュール】

- 6・7年度 予備設計、詳細設計等
- 8年度 工事影響調査等
- 9年度以降 歩道橋新設工事

考察



平和大橋に続き西平和大橋の上流側に歩道橋整備が行われると歩行者の歩行空間と自転車の安全走行が担保でき、利便性も上がると考えられます。

青少年の健全な心身の育成と社会性の涵養

■ ライフデザイン支援 271万4千円

学生・若者が個人の自己実現を図り、自分らしく自立した社会生活を送ることができるよう、ライフデザイン(将来設計)に関する学びの機会や、若者の出会いの場の提供などの支援を行う。

【主な実施内容】

- ①学生・若者を対象としたライフデザインセミナー等の開催。
- ②広島広域都市圏における若者の出会いイベントの試行実施。

考察



「学生・若者を対象としたライフデザインセミナー等の開催。」「広島広域都市圏における若者の出会いイベントの試行実施。」とありますが、国の施策に沿った支援策そのままだけでやった感を出すのは如何なものか。多くの実施している自治体の先行事例が蓄積しています。異業種間交流等、出会いの幅を広げ、ライフデザインの選択肢を増やし、望む未来像を実現し易くなるよう支援を期待したいところです。

学校給食の提供

54億2,697万9千円

■ 学校給食の食材調達

小・中学校等の給食の実施に必要な食材を調達する。

食材費単価

区 分	8年度(※) A	7年度 B	差引 A-B
小学校	360円/食	309円/食	+51円/食
中学校	430円/食	370円/食	+60円/食

※8年度は、当初予算+7年度2月補正予算。当初予算には、小・中学校いずれも300円/食を計上。

■ 小学校等における給食費の負担軽減

国による「学校給食費の抜本的な負担軽減」を踏まえて、8年度においては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金も活用し、保護者等に負担を求めないこととする。

区 分	8年度 A	7年度 B	差引 A-B
保護者等負担額	—	250円/食	▲250円/食
物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金	60円/食(※)	59円/食	+1円/食
国による措置額	300円/食	—	+300円/食
計	360円/食	309円/食	+51円/食

※7年度2月補正予算で措置。

■ 中学校等における給食費の負担軽減

引き続き、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、保護者等負担額は据え置くものとする。

区 分	8年度 A	7年度 B	差引 A-B
保護者等負担額	300円/食	300円/食	—
物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金	130円/食(※)	70円/食	+60円/食
計	430円/食	370円/食	+60円/食

※7年度2月補正予算で措置。

考察



令和8年度は小学生には保護者等の負担を求めないようになります。また、令和8年度の中学生には保護者等の負担軽減を行います。国が示す給食費無償化は、保護者の経済的負担の軽減に加え、自治体運営の面でも多くのメリットがあります。特に経済的に余裕のない世帯の家計を下支えし、子どもの貧困対策としての効果も期待され、制度の持続可能性や給食の質の低下を招かないようにしなければならないと考えています。